

骨軟部肉腫で肺転移の治療を受けた患者さんへ

当院では、より良い治療を行うための

骨軟部肉腫における肺転移を担う新規遺伝子の同定

という調査を実施しています。

「骨軟部肉腫における肺転移症例の治療成績向上」に関する研究を行っています。

骨軟部肉腫における肺転移症例の治療成績を検討して、肺転移をもたらす遺伝子を同定し治療成績向上のために改善すべき点を解明する研究を開始しました。骨軟部肉腫の治療法の改良に役立てることを目的としています。

*この調査は、札幌医科大学附属病院臨床研究審査委員会で承認されて行っています。研究期間は病院長承認日～平成34年7月31日で、約100名の患者さんにご協力頂く予定です。

これまで行った画像検査や病理検査を用いるため新たに検査を行うことはありません。

この調査では、担当医師が手術の際に行った画像検査や手術時の病理組織標本を解析しますので、新たに検査を行うことはありません。この研究を行うことで通常診療以外の余分な負担は生じません。

調査の対象は、一部の方です。

札幌医科大学附属病院において、1990年1月1日から2017年7月31日までに病理組織学的に骨軟部肉腫と診断されたのちに肺転移をきたした患者さんが該当します。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

それぞれの情報には新たな番号を付け、番号とあなたのお名前を結びつける対応表は研究責任者が厳重に管理致しますので、あなたの個人情報は守られます。ご不明な点がありましたら、下記当院担当医師までお問い合わせください。

この調査にご自分の診療情報を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査研究へのご自分の診療情報の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。その場合は、下記担当医にお申し出ください。ただし、ご連絡いただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

札幌医科大学附属病院 整形外科

平日 011-611-2111(教室内線 33330)

夜間・休日：札幌医科大学附属病院 8階南病棟(内線 33410)

臨床研究責任者： 江森 誠人 (講師)